

## 臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学器官制御外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年2月 福島県立医科大学医学部器官制御外科学講座 主任教授 竹之下誠一

【研究課題名】 大腸癌におけるHOXファミリー遺伝子の発現と臨床病理学的意義の検討

【研究期間】 平成25年2月～平成30年1月

### 【研究背景】

HOXファミリー遺伝子は細胞の核にあるタンパク質を合成する働きをもつ遺伝子の一つであり、細胞や組織の正常な発達と腫瘍形成に関わるとされています。近年HOXファミリー遺伝子が白血病や食道癌、卵巣癌などの腫瘍の発現へ関与するとする報告や予後予測因子となり得るとの報告もなされていますが、大腸癌における研究報告は少ない現状です。

### 【研究目的】

大腸癌の臨床検体を用いて、HOXファミリー遺伝子の発現を調べ、臨床病理学的背景因子や予後との関連を検討します。また、HOXファミリー遺伝子の機能解析を行うことにより、詳細な働きをつきとめ、大腸癌における生物学的意義を明らかにします。

### 【研究の方法】

1. 大腸癌の臨床検体でのHOXファミリー遺伝子のRNA発現を調べます。
2. 大腸癌の臨床検体の臨床情報を照合し、病理学的背景因子や予後のリストを作成します。
3. 臨床検体のパラフィン切片を作製し、HOXファミリー遺伝子の発現を免疫組織学的に検討します。
4. 癌部と正常部のパラフィン包埋切片よりDNAを抽出し、HOXファミリー遺伝子の発現、変異の有無について検索します。
5. これらの検索データを解析し、臨床病理学的背景因子や予後との関連、臨床的および生物学的意義について検討します。

### 【研究組織、研究機関名】

研究責任者 器官制御外科学講座 主任教授 竹之下誠一

主任研究者 器官制御外科学講座 助手 渡辺洋平

### 【人体から採取された試料等の利用について】

本研究では、手術で摘出されたがん組織の病理診断後に残存するパラフィンブロックを利用します。よって対象者が新たに検査や手術侵襲を被ることはありません。本研究で行われる遺伝子発現解析はRNA抽出によるタンパク発現解析であり、DNA解析ではありません。また、DNA精製を伴うアンプリコン解析は、がん組織に特異的な遺伝子量をサザンブロット等により解析するものであり、SNPs解析などのように遺伝的に受け継がれるDNA配列の変異を解析するものではありません。したがって、本研究における解析結果から対象者個人を特定することはできません。

### 【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用

停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

**【本研究に関する問合せ先】**

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部器官制御外科学講座 担当 渡辺 洋平

電話：024-547-1259

E-mail:yoheko.watanabe@gmail.com

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp